

令和8年度第1回練馬区食育推進ネットワーク会議（第10期）会議要録

1 開催日時

令和8年7月3日（金）午後2時30分～4時30分

2 開催場所

練馬区役所本庁舎20階交流会場

3 出席者

委員長	健康部長
副委員長	健康部健康推進課長
委員	小野委員、鈴木委員、松前委員、高安委員、小倉委員、茂木委員、 石井委員、熊木委員、平野委員
幹事	大泉保健相談所長、都市農業課農業振興係長、清掃リサイクル課清掃 事業係長、保健給食課学校給食係長、保育課保育所給食係長、 健康推進課健康づくり係長、健康推進課歯科保健担当係長、豊玉保健 相談所栄養担当係長、石神井保健相談所栄養担当係長
事務局	健康推進課栄養食育係4名
欠席委員	上月委員、杉山委員、割田委員、佐藤委員、栗原委員

4 公開の可否

公開

5 傍聴者数

0名

6 配付資料

資料1－1	第10期 委員名簿
資料1－2	第10期 幹事名簿
資料－2	第10期の活動について
資料－3	食育推進ボランティアの育成および活動支援について
資料－4	食育推進ボランティアとの協働事業「ちゃんとごはん」 プロジェクトについて
資料5－1、5－2	ねりまの食育応援店事業について
資料－6	野菜摂取量向上を目指した取組について
資料－7	若い世代への食育の取組について
資料－8	第10期2年目会議日程

7 会議要録

（1）開会

（委員長） 皆さんこんにちは、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。
私の方で進行を務めさせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたしま
す。それでは10期の2年目になります。令和8年度第1回練馬区食育推進ネ

ットワーク会議を開催いたします。次第に沿って進めさせていただきます。次第1でございます。

委嘱状の交付です。本年度から委員になった方には、恐縮ですが委嘱状を机上配付により交付とさせていただきます。委嘱期間につきましては、本日から令和9年3月31日までになっております。どうぞよろしくお願いいたします。次第2に参ります。委員長、副委員長の挨拶をさせていただきたいと思っております。改めまして、委員長を務めさせていただきます、健康部長です。区の方で選挙があったため、人事異動が7月1日にあり、今回が初めての出席になります。どうぞよろしくお願いいたします。

(副委員長) 副委員長となりました健康推進課長です。私も4月1日に着任しました。食を取り巻く様々な関係団体の方から幅広くご意見賜ればと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(委員長) ありがとうございます。それでは次第の3に移ります。委員と幹事の紹介でございます。お手元に資料の1-1、1-2を配布してございますけどご覧いただきたいと思っております。本日の会議の委員、幹事名簿でございます。今回委員と幹事の交代がありましたのでお手数ですが皆様からお名前と一言お願いできればと思っております。まず初めに6名の区民委員の皆さんからご挨拶いただければと思っております。本日2名の委員がご欠席でございます。ではお願いします。この後、幹事の挨拶をお願いします。

<各委員・幹事による自己紹介>

(委員長) それでは次第の4にいきたいと思っております。練馬区食育推進ネットワーク会議における取り組みとしてまず(1)になります。第10期の活動について。資料の2の説明をお願いいたします。

(事務局) 資料2の説明

(委員長) ありがとうございます。まず資料2、説明いただきました主に7年度から10年度までの食育推進計画の全体像。それからこの10期、この2年間の中での活動の案ということで事務局の方から説明がございました。この中でご質問ご意見、わからないことなどがありましたらお願いいたします。

(委員・幹事) 特になし。

(委員長) では次に進めさせていただきます。資料の(2)食育推進ボランティアの育成および活動支援について(3)食育推進ボランティアとの協働事業「ちゃんとごはん」プロジェクトについて(4)ねりまの食育応援店事業について(5)野菜摂取量向上を目指した取組について(6)若い世代への食育の取組について。資料3から資料7までとなりますがこちら一括して説明をお願いします。

(事務局) 資料3から7の説明

(委員長) ありがとうございました。ちょっとかけあしで長くなって恐縮ですが、資料3から7ということで、これまでの取組とか経緯、それからこの10期の中の計画ということで各事業の説明を一通りさせていただきました。事務局の方からの説明に関してご質問ございますか。

(委員・幹事) 特になし。

(委員長) 資料3のちゃんとはん事業プロジェクトで先日ですけれども高松のみらいのはたけで事業があったということで、ボランティアとして委員がご参加いただいたということだったのですが、ご感想とかもしあれば教えていただければと思います。

(委員) 食育ボランティアです。当日6月20日は朝から雨が降り子どもたちは大丈夫かなとちょっと心配しました。畑の中に入って帰ってくる頃には靴、靴下とかズボンとか結構濡れていたのですが、エプロンに着替えると生き生きした感じで早く作りたいみたいな感じで参加してくれました。Instagramの方に出ていたのですが、手のひらサイズのピーマンを取って手でちぎってドライカレーの中に入れて、普段ピーマン食べられないというお子さんも進んでピーマンをちぎって、なんと種までもったいないから食べられそうって言って入れているお子さんもいました。お味噌汁にも手でちぎれるもの、白菜なんかは手でちぎって、サラダごぼうも収穫させてもらいました。サラダごぼうは本当に香りがよくて子どもたちも大きい子は3cmとかにプツプツって切っている子もいたのですが細く切る子もいて、こんぶとかつおぶしから取ったやさしい具沢山のお味噌汁ができました。それをお父さまお母さまと一緒に私も一緒に共食をしたのですが、その中でお父さまお母さまから子供達が調理している間食育講座を受けた時にとれたてのサラダごぼうを使って電子レンジで作るやきそばがとってもおいしかったと。それを何度もお子さんの前で話されていてそうするとそのお子さんが、ごぼうが嫌いだったみたいなのですが食べたい食べたいと言って、やっぱり親御さんが興味あって食べたいってとても楽しそうに話す姿を見ると、お子さんたちも興味を持っていくのだなという姿が見られました。今回、収穫をして調理をしてみんなで共食をするという活動が私と一緒にボランティアをした方が「これこそ究極のちゃんとはんじゃないのでしょうかね」という話で最後みんな意見交換を行いました。またぜひ参加したいなと思いました。みなさんにも今日大きなピーマンを持ってくる予定だったのですが。ピーマンなのですが全然ピーマンの味もしなくて子どもたちも「これ本当にピーマン」っていいながら学校の給食にもいいんじゃないかなと思いました。とてもいい経験でした。長くなってすみません。

(委員長) ボランティア体験もご披露いただきましてありがとうございます。都市農業課

からご意見はありますか。

(幹 事) いつもお世話になっております。都市農業課は、食育というお題を抱えている中で大変に助かっておりまして、みらいの畑はＪＡ東京あおばさんに全面的に運営をお願いしているところですが、その管理人さんがこのイベントを大切に思っていて作付けはもちろん、何か月も前からなんですけど、何にしようかってすごい面白がりながら考えてくれています。さらにサラダごぼうが本当においしかったということで、あれは明日収穫体験やるんですけど絶対抜けないんですよ。今日のインスタグラムを見たら悪乗りしたのかサラダごぼうが抜けない体験をやるって。そんな感じで当日私も顔を出させてもらって、お子さんが見てただ食べるとか、ただ勉強じゃなくてなんか遊んで楽しみながらおいしい体験ができるってそういう入口がこの事業がうまくいっている理由なのかなと思いました。

(委員長) ありがとうございます。事業の経験からどんな感じかご披露いただきました。それでは事務局の説明についてご質問ありませんでしたが、せっかくでございますので、事業だけではなく、みなさんが今活動している分野を含めましてこの食育にかかわる提案等、この機会ですので委員の方々にご披露いただければと思います。ボランティア体験以外で食に関連するところで思うところや、行政への要望でもかまいませんので、ご提案等よろしくお願いいたします。

(委 員) 食育ボランティアをしております。先日のみらいの畑の体験の回数をもっと増やして、人数も増やしてそして親子参加も増やしていけたらいいのかなと思いました。告知、チラシが配布されたみたいですが小学校の校長先生もいらっしゃるみたいなのでこういうのも小学校とかで配布していただくと周知する今後の課題かなと思いました。

(委員長) ありがとうございます。

(委 員) 私は江古田みつばちプロジェクトというところで食育に直接関係しているというよりはハチを通して環境を学んでもらうみたいなのを小学生とか江古田の地域の人を対象にしたイベントなどをしているのですが、今回のお話を聞いて遊ぶことを入口にプロジェクトを進めていくと学びが広がるのかなという新しい学びを得ることができました。子どもと大人一緒にということが多かったんですけど、それを「ちゃんとごはん」の企画のようにあえて分けてやることで、それぞれ学びがあるということもひとつ学べたかなと思いました。また別の話ですが、告知について大学生から見たときにイベントがあることをここに来ないとわからないというのが１点あって。もし大学生をターゲット層に当てているというのじゃなければいいのかなと思うんですけどちゃんと届く告知をやっぱり協力できたらなと思っています。以上です。

(委 員) ちゃんとごはんプロジェクトの話を聞いて急に小学校の頃の体験を思い出し

ました。私は、練馬区立小学校の卒業生で小学生の時に確かねりま大根の種をまいて間引きをして収穫し、それをたくあん漬けにして、一年間を通して長い期間やる体験をしていく過程で、食材に対する考え方も変わりましたし、自分自身が成長するとともに、食育の現場にも関わっていきたいという思いも持ったので収穫、料理だけではなく、時間もコストもかかりますが、種まきからの一連の流れ全部の体験できるようになったらおもしろくてよいなと思いました。

(委員長) ありがとうございます。若い方の食育をターゲットにしたいので、まさに皆さんの友達とか普段どんな食生活をしているのかなど、ぜひ色々な情報をいただければと思います。次に食育関係団体の委員の皆さまからも今携わっているお仕事なども含めましてPRなど、考えがあればご披露いただければと思います。

(委員) 先ほどのちゃんとごはんプロジェクトへ、私ではないのですが一緒に働いている者が参加させていただきました。彼女が言っていたのですがせっかくいい取組なのでできればもっと回数が増やせたらいいということと参加費をいただいてもいいよねという話をしていました。その日、ちょうど私はお店の方で「梅仕事」という梅シロップとか梅ぼしを作るワークショップをしていて、そこにいらっしゃった親子さんが小学1年生だったのですが、お母さんもすごい料理好きで、今日別のところでこういうことをやっているんですという話をしたらすごく興味を持たれていました。でもどうやってイベントを知るのですか、というお話をしていました。席の数もあるので大々的にできないという事情もあるのかもしれないですが、いい取組なので回数が増えたらいいのと思っております。ご検討いただければと思います。

(委員) 私は保育園という立場からお話をさせていただきますと、みらいの畑の事業とか小学生の方対象にたくさん色々こうしていただいているようなんですけど、保育園児も侮れないぞというふうに私ずっと思っていて、保育園児も小さいからということじゃなくて本当にやればできるのだからって言うのを私は今すごく実感しています。当園の4・5歳児は、自分たちで10合炊きのお釜を使って毎日ご飯を炊いています。単なるクッキング体験ではなく、自分たちの食事を自分たちで作る、自分たちの体を育てることを日々実践しています。その姿を見ていると、食への関心や力は、継続した体験を通して確実に育っていると感じます。また、保護者の皆さんも食に対する関心が高く、保育園でさまざまなイベントを実施していますが、その中でも食に関する研修会や講演会は特に参加率が高いです。以前は遠足や動物園、水族館などの行事が人気でしたが、近年は収穫体験へ内容を変更するほどです。最寄り駅は保谷になりますが、明日は5歳児とその保護者が一緒に稲刈り体験を行ったりする予定で

す。このような活動を通して、子どもだけでなく保護者も食や農業に強い興味を持っていることを実感しています。子どもの頃の体験や興味・関心は、その後の成長に大きく影響する非常に大切なものだと思います。ぜひ、保育園児や幼稚園児も巻き込みながら、食や農に関する取組を進めていただければと思います。よろしくお願いいたします。

(委 員) J Aということで基本的に農業というところなんですけれども、今私は収穫体験に立ち会う機会が割と多くてですね、今までのお話聞いて思ったのはやっぱり皆さん楽しんでます。楽しむと嫌いなものもなんかこう体験がセットだと好きになったりするきっかけになりすごくいいところなのかなと思いますので、そういったものを広げていけたらいいのかなと思うんですけれども、一方でその地域地域でやっているのかなと思います。周知により多くの人に参加できるっていうところと住んでいる所の近隣で体験するっていうところの兼ね合いを考えながら J Aとしても農家さんとコミュニケーションを取りながらどうしていくかというところを考えていく必要があるのかなというふうに顧みたところでございます。

(幹 事) 都市農業課ではぜひお子さんたちに参加して欲しいので、野菜の収穫体験とか果樹の収穫体験やっている農家さんに P R に活用してもらう目的で巨大な看板をプレゼントしました。ホワイトボードとして使ったり〇月〇日ここで収穫体験やりますとか書けるようにして集客しています。また、「とれたてねりま」という農家さんが自由に運用できるようなアプリを作っています。皆さんもよければぜひアプリを活用してください。団体での活用も O K なのでぜひよろしくお願いします。

(委 員) 大学生がハチを養蜂しているということですがすごく興味があるのですが、実は私も飲食店をやっています。ハチを養蜂しています。ハチってハチだけで考えると食育に繋がってないのかと、プライベートで楽しみながらやろうと思いましたが、知れば知るほど奥が深く食につながっている。すごく素敵な経験されていてうらやましいです。僕は J A さんがいたり、各団体の方がいたりしていろんなポテンシャルを皆さん持っていると思います。ただそれをつなげる人そのちょうど真ん中にいる人たちがかなり苦労しています。行政の方々は提供だけではなく、技術者やそれに関わる運搬する人たちの確保システム構築とかもかなり重要なんじゃないかなというのを先日学校給食の講演の時に話をさせていただく機会があり、痛感した次第です。学校給食の栄養士さん達からもレシピをいろいろ提供してくれということだったので話をさせて頂きましたが練馬区では J A さんが中心にじゃがいも、玉ねぎ、人参にその他お野菜を提供していますよね、学校給食に。かなりの量。すごくいいことだと思うのです。だけでももう少し現場目線でそれを運ぶ人が誰なのかそのレシピ

を考える人たちは誰なのか。そして僕が強く思ったのは学校給食の栄養士さんたちは失敗することはできないのです。500食 600食アウトになってもその子供たちは、食べられなくなっちゃうのですよ。その恐怖心たるや相当なものなんじゃないかなというのは強く痛感したので野菜を提供するだけではなくてどういう料理を作ったらいいのかとか、そういうのも行政として栄養教育いろんな方々素晴らしいプロフェッショナルがいるのでそういう人たちに協力を得てやっていったらよいのではないかと思います。ありがとうございました。

(委員長) ありがとうございます。やはり何かをやるためにはシステムとしてどう下支えするか、持続的にまわしていくようなシステムづくりは確かに必要なものだと思いますよね。そういう視点も特に我々は持ってなきゃいけないと今本当に強く思ったところでございます。今、団体の方、区民の方からご提案等いただきましたけれども校長先生含めて行政の方ですね、何かございますか。

(委員) 私は給食について思っていることは、家庭の食卓はどうしても定番メニューとか食べるものがある程度決まってくると思います。例えばカレーライスを食べるとするとどうしてもお肉はチキンか牛肉になり、家庭特有の味はあると思うのです。しかし、給食でしか食べられないメニューや給食だから食べられるメニューがあると思います。ぜひそういった部分で給食は子どもの食の幅を広げるためにとても貴重な場ではないかなと私は思っています。今日の給食をみるとビーフストロガノフというロシア系の料理が提供されました。コストの関係でポークを使い、いかに美味しくコクを出すかなど、そういったところが各学校の栄養士さんの工夫だと思います。中学校ではいろんな美味しいレシピを持っています。それを交流しながらお互いに話し合えるような部会になればと思っています。先ほどある委員さんがおっしゃったように500食 600食を作る中で、できたて熱々のものを出すことは難しい部分もあるのですが、ノウハウを中学校や小学校の栄養士さんに提供していただけると野菜を食べない子ども達も学校で食べたら美味しかったと家庭で言うとか保護者の皆さんも作ってみようかと思ひ、広がりが出てくと思うのでそういう機会に給食がなるといいなと思っています。引き続きよろしくお願いいたします。

(委員長) ありがとうございます。ほかに何かございますか。

(委員・幹事) 特になし。

(委員長) 皆さまのご意見伺いましたが、またこれからも様々のお気づきの点とかを事務局宛にいただければと思います。

それでは次に進めさせていただきたいと思います。案件の5になります、第10期2年目会議日程について、資料8の説明をお願いします。

(事務局) 資料8の説明

(委員長) 今後の日程について説明いただきました。よろしいでしょうか。それでは最後 6 番のその他になりますけれども改めましてここまでの報告を含め何かございますか。

(幹 事) 清掃リサイクル課清掃事業係長です。昨年度も行わせていただきましたねりま食べきりキャンペーンを今年度も行う予定で考えています。食品ロス月間の時期に清掃リサイクル課が行っているおいしく完食協力店と健康推進課で行っているねりまの食育応援店、どちらかの店舗を利用し 2 次元バーコードからクイズとアンケートにお答えいただいた方にリサイクルセンターのイベント会場にて景品をプレゼントするという企画になっています。詳細につきましては第 2 回の会議でご報告させていただければと考えております。よろしく願いいたします。

(委員長) ありがとうございます。清掃リサイクル課からのご報告でございました。ほかにありますか。

(委員・幹事) 特になし。

(委員長) 本日いろいろご意見を伺いました。お忙しいなかご協力いただきましてありがとうございます。次回は 10 月 30 日金曜日でございます。ご案内はまた後日改めてお送りさせていただきます。これで本日の練馬区食育推進ネットワーク会議を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。